

ディペンダブルで高性能な 先進ストレージシステム

- ストレージはどこまで賢くなることができるか -



研究概要



研究の目的とアプローチ

これからの情報化社会

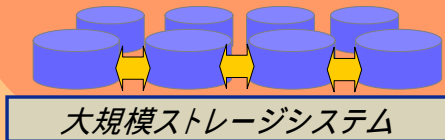
多種多様な大量のデジタルコンテンツ

必要な情報を確実に格納し、高速に取り出すための
効率の良いストレージシステムの管理

高性能でディペンダブルな先進ストレージシステム

コンテンツの集約
(データセンター)

利用者が必要なときに
必要なデータを保持



パーソナル/エッジストレージ

管理コストの低減を目指して

アクセス負荷と容量バランスを
自動的に両立させる方法

コンテンツの内容・特徴を
考慮したデータ移動方法

データ管理処理により
サービスの質を低下させない方法

高性能でディペンダブルなストレージシステム構築のための

基本となる技術の確立

アーキテクチャ アルゴリズム データ構造

チーム構成

先進ストレージ研究統括・推進グループ

東京工業大学

[横田、藤原、奥村、山岡、小林(亜)、小林(隆)]

高度メディア蓄積・管理手法研究グループ

奈良先端大 [植村、宮崎、波多野]、筑波大 [天笠]

システムアーキテクチャ研究グループ

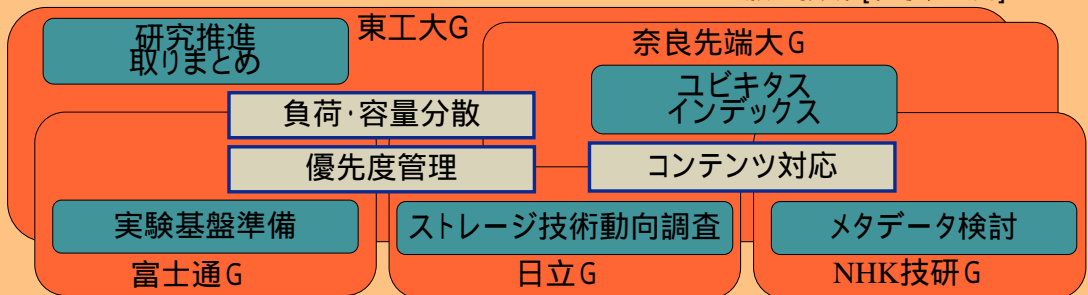
富士通 [太田、江尻、戸田]

メディアストリーミング基盤研究グループ

日立システム開発研究所 [藺田]

コンテンツ対応メタデータ研究グループ

NHK放送技研 [和泉、田口]



海外関連研究者との交流：国際ワークショップの開催 (in USA)

第1回(2004.12.6-7) : Prof. Ganger (CMU), Dr. Uysal (HP) Dr. Wilcke (IBM)

第2回(2005.12.16-17) : Prof. Ganger (CMU), Dr. Merchant (HP) Prof. Russell (UNH)